

## 本時のねらい

タブレット PC を活用し、ことわざをインターネットで調べ、オリジナルカルタをつくる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・画面を 2 分割（インターネットとロイロノート）し、作業を効率よく進める。
- ・児童がそれぞれ別の言葉（五十音）を担当し、クラスオリジナルのカルタをつくる。

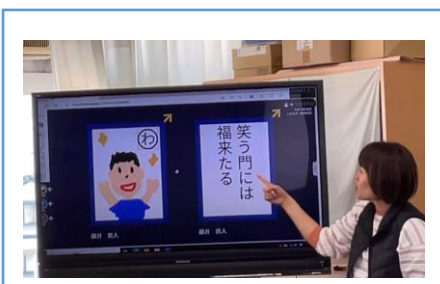
## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・大型提示装置
- ・ロイロノート

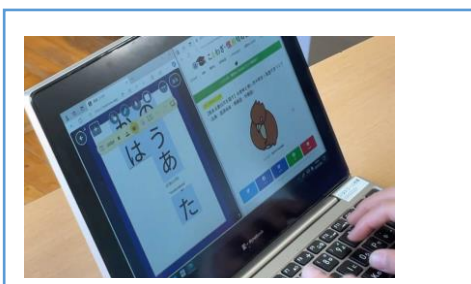
## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○本時のめあてを確認する。 めあて【三年二組のことわざカルタをつくらう】  【写真 1】	・完成形がどんなものになるのか、どのように作業を進めていけばよいのかを大型提示装置（テレビ）で確認する。
展開 (30分)	○ことわざ辞典のサイトで調べ、自分が担当する読み札と絵札を作成する。 使用サイト 【ことわざ・慣用語の百科事典】  【写真 2】	・画面を 2 分割（ことわざのサイトとロイロノート）し、調べながら効率よく作業を進めることができるようにする。 ・絵札を作成する際はペンの色を変えながら書き込んだり、読み札を作成する際はキーボード打ちとペンや指での書き込みを選択したりできる。
まとめ (5分)	○本時の振り返りをする。 「ことわざには、自分たちのまだ知らない言葉がたくさんある」  【写真 3】	・作成したカルタと振り返りをまとめて提出する。

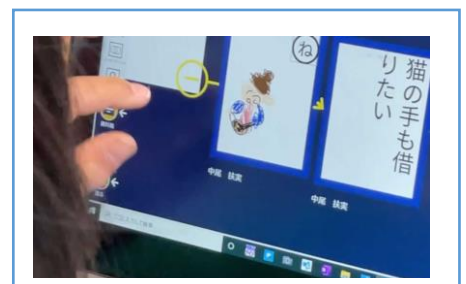
## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】どのような作業を行っていくのか全体で確認している場面



【写真 2】画面を 2 分割し、効率よく作業を進めている場面



【写真 3】振り返りをカードにまとめ、作成したカルタを提出している場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・画面を 2 分割して作業を進めたことにより、他の単元や他教科でもそれを生かして学習に取り組むようになった。
- ・画面を単純に半分ずつ分割するだけでなく、内容や記述のしやすさ、文字の読みやすさなどを考慮して、左右の画面の比率を変更し、応用して活用する児童もみられた。
- ・あまり親しみのないことわざ・故事成語について、インターネットで簡単に調べて内容を把握したことにより、言葉の楽しさや学んだ言葉を他の人に伝えようとする姿がみられた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・画面 2 分割の方法など、パソコン活用のスキルについては、児童の作業効率を上げるため、黒板にわかりやすく提示し、丁寧に伝えることが大事である。口頭だけで済ませず、学習したスキルは教室に掲示したり何度も復習したりするとよい。
- ・児童それぞれが作成したカルタを提出箱に集め、それを使ってクラスオリジナルカルタを完成させ活用することで、より楽しくことわざ・故事成語を学習することができる。